

¡Hola! desde Nicaragua

☆青年海外協力隊 ニカラグア通信 No49☆ 2013年1月20日 発行者 夏目佳代子

iHola! 2013 年がスタートしました。昨年と違うのは、日本に帰る日がそこまで来ているということです。帰国便も決まって、任期も本当に後少しになってしまったんだということを感じます。まだまだやりたいこともある、みんなと別れるのは寂しいな・・でも日本のみんなに会えるのも楽しみだな、といろいろな気持ちが混じっていますが、後2ヶ月、現地の人と過ごす日々を大切に、最後までできることをやりきりたいと思います。



☆高橋尚子さんとの出会い

1月半ば、JICAのオフィシャルサポーターである高橋尚子さんが JICA事業視察などのためにニカラグアを訪れ、その中で首都マナグアで子どもたちとのマラソンイベントが行なわれました。そして、なんと!!私の任地のヌエバギネアにも活動視察に来て下さいました。到着したのは野球場、ヘリコプターでやってきたのです。その音を聞いて近所の人たちもどこかかしらから集まってきました。

配属先の青少年の家で、これまで行ってきた活動などについて紹介した後、アートマイルプロジェクトを行なっているレイナの家へ。(市長選挙後、青少年の家がなかなか落ち着かなかったため、彼女

が自分の家を活動場所として貸してくれているのです。)子どもたちが日本の旗を振って歓迎しました。そして、アートマイルプロジェクトでこれまでどんな交流をしてきたかを説明しました。高橋さんが、「アートマイルを通して、自分の中で何か変わったことはありますか?」と質問すると、ある男の子が「日本が近く感じられるようになった。」と答えました。交流を通して、そんなことを感じてくれていることをうれしく思いました。岐阜の小学校とは、デザインについてお互いの意見を送り合って決定し、12月



末に日本側の絵(壁画の左半分)が完成しました。絵を描いている様子や完成した壁画の写真が送られて来たので、一緒に見ました。今壁画は日本を発ってニカラグアに向かっている所、到着が待ち遠しいです。高橋さんも、壁画の完成を楽しみにして下さいました。最後に、子どもたちが作ったカード



をプレゼント。「心」「絆」「友」の中で好きな字を書きました。一人一人からカードを手渡された高橋さんはとても喜んでくださって、子どもたちもうれしかったようです。その後、子どもたちにしてくれた話を聞いてとっても感動しました。子どもたちに、将来の夢を聞いて下さったのですが、子どもたちからは「ウェブデザイナー」「会計士」「歌手」といろいろな答えが返ってきました。それぞれが自信をもって「〇〇になりたい!」という姿にびっくりしました。高橋さんは子どもたちに「夢をもってそれに向かっていくと、叶う時が来るよ。」ということを話して下さいました。彼女が陸上を始めたのは 13 歳。自分たちと同じくらいの年齢から努力を続けていることを知り、「すごい!」と子どもたち。話を聞く目がキラキラ輝いて、彼女の話に引き込まれていました。言葉以上に、彼らの心に伝わるものがあったのだと思います。人がもつ力、人が人に与える力のすばらしさを改めて感じました。高橋さんは過密ス

ケジュールのはずなのに、終始笑顔で、一緒にいると私も元気に。別れるとき、「今日みんなと過ごした時間のことを忘れません。」と話して下さいました。子どもたちも「絶対忘れない。」と言って見送りました。夢、希望、勇気、元気、努力、目に見えないけれど子どもたちの心に大きなものをプレゼントしてくれた高橋さん。子どもたちにとっても、私にとっても忘れられないステキな1日になりました。



☆ニカラグアのごはん その13 くだもの編1

「ニカラグアの好きなところは?」と聞かれたら、いくつかある中でも「くだものがおいしい!」ということが間違いなく入ると思います。これまでの通信でも、バナナ、オレンジ、マンゴ、ホコテ、パパイヤ、パイナップル、ペラ、ピタヤ(ドラゴンフルーツ)を紹介しましたが、他にもたくさんのトロピカルフルーツが楽しめます。



日本でも世界各国の様々なくだものが手に入るようになりましたが、実際に木に実がなっている風景は熱帯にあるニカラグアならではだと思います。庭にくだものの木がある家も多く、私もほしくな



☆プラタノがどーん!と並びます。

ります。鳥やリスも食べに来ます。私がよくくだものを買うのが、メルカド・カンペシーノ、直訳すると「田舎の市場」で、週に2回市役所前にテントが立ちます。周辺集落の農家の人たちが、自分の所で採れた野菜やくだもの、手作りのチーズやパン、ごはんやジュースなどをここで売るのです。町の人たちは食材を買ったり、お昼ごはんを食べたりしていきます。私がくだものの他によく買うのがプラタノ(食用バナナ)を薄くスライスして揚げたタハー

ダ(通信 No20 参照)。農家の人たちとも顔なじみになって、「タハーダあるよ。」「パンはどう?」 など声

をかけてくれたり、時におまけをしてもらったりします。くだものは道ばたでもよく売られています。スーパーでは、いちご、ぶどう、リンゴも売っていますがこれらはコスタリカなどから輸入されていて、値段もとっても高いです。こんなに種類豊富ですが、まだまだあるのです。 続きは次号で!

